

# KDKニュース



## KDK三つの原則

1. 開拓伝道であること
2. 教会を建てあげること
3. 聖書信仰に立つ、教団、教派との協力

## 国内開拓伝道会

発行人 泉田 昭

〒352-0011

埼玉県新座市野火止4の8の28

電話 048-202-1500

FAX 048-202-1501

振替 00140-6-57493

No. 116 2016年 5月

## 「説教の心得」

KDK委員 板倉邦男



母教会の牧師が病気になるので、神学生だった私は毎週説教壇にたつことになった。あれから五〇年になる。私の説教者としての心得を書こうとする。

「講壇を死守せよ！」  
これは、神学生の時、説教の先生に言われた言葉である。伝道者にとって、一番大切なことは、講壇でのみことばの説教である。説教の準備こそ、何よりも優先順位としなければならない。

開拓伝道をして二年目の二十五歳の時、二週間の入院を余儀なくされたときあったが、説教の原稿ができていたので、役員候補の兄弟に代読してもらった。だから、いざという時のために、説教原稿は三か月先のを作るのである。

先日も突然の葬儀が週日に入ったが、葬儀のための説教等の準備に集中できた。

「あなたは熟練した者、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神にささげるよう、努め励みなさい。」

「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。」

第二テモテ四章二節

## 「羊は羊飼いの声を聞く」

これも、神学生の時に、解釈学の先生から聞いた言葉であるが、イエス・キリストが、ヨハネの福音書十章十四節で言われたものである。

「しかし、門からはいる者は、その羊の牧者です。門番は彼のために開き、羊はその声を聞き分けま。彼は自分の羊をその名で呼んで連れ出します。彼は、自分の羊をみな引き出すと、その先頭に立て行きます。すると羊は、彼の声を知っているのです、彼について行きます。」

(ヨハネの福音書一〇章二、四)

この世には、神に選ばれ召された羊たちがいる。その羊たちは、羊飼いの声を聞くと信頼して従ってゆくのである。使徒パウロもこう言っている。

「神はあらかじめ定めた人々をさらに召し、召した人々をさらに義と認め、義と認めた人々にはさらに栄光をお与えになりました。」

(ローマ人への手紙八章三〇節)

だから、私は旧約聖書を語る時も、主イエス・キリストの言葉を語るように心掛けたのである。

第二テモテ二章十五節

(千葉みどり台キリスト教会 牧師)